

TOENEC

え が お

つ な ぐ

ま も る

トーエネック配電部門協力会社
入 社 案 内



電気の道をつくる。 それは、人の命をつなぎ、暮らしを守る。 人々のえがおをつくる。

ライフラインとして欠かすことのできない「電気の道」。

トーエネックは、この「電気の道」をつくる、

大切な仕事を担っています。

同時にそれは、私たちの命をつなぎ、

暮らしをまもる、社会に欠かすことのできない

重要な仕事でもあると考えています。

エネルギーインフラを支える大切な仕事だからこそ、

やりがいも大きい。

やりがいが多いからこそ、人生が豊かなものになる。

地域に密着し、地域に貢献しながら、

えがおをつくり、笑顔になれる仕事なのです。



ごあいさつ

■ トーエネック配電協会より

トーエネック配電協会は、中部5県（愛知、岐阜、三重、静岡、長野）下にあるおよそ90社の協力会社で構成されている組織で、中部電力からトーエネックが請け負った配電線工事の約半分を施工しています。

各協力会社はトーエネックの営業所に所属して連携をとりながら工事に従事しており、トーエネックと同様に、中部電力管内の配電設備に安定的な電気を送り続けるため、最新の技術・工法によりライフラインを守る一翼を担っています。

また、中部電力エリアでの工事を手がけるため、地元のお客さまの暮らしに役立てることを身近に実感でき、大変やりがいのある仕事です。その地域社会からの信頼と期待にお応えできるよう、いま私たちは若いエンジニアを必要としております。地元で活躍したいという皆さんと一緒に将来に向けてチャレンジしていきましょう。

■ 株式会社トーエネックより

お客さまの日々の生活、さまざまな生産活動、地域社会の発展を支える電気。その電気を地域の皆さまのご家庭や職場にお届けする電力会社の配電線ルートの構築とメンテナンスは、トーエネックの大きな仕事です。

私たちはトーエネック配電協会とともに中部電力管内・中部5県下をカバーして配電線工事にたずさわっており、台風や雪害、落雷などの自然災害にもいち早く復旧対応し、皆さまのライフラインの確保に昼夜を問わず努めております。

その中で、当社は施工パートナーである配電部門協会の人材採用、次代のエンジニア育成を積極的にバックアップさせて頂いており、これからも継続してお客さまや社会からの信頼と期待にお応えできるよう、最新の技術・工法を使いこなす若いエンジニアを求めています。やる気のある皆さんのチャレンジを待っています。





電気の道をつくる「しごと」は、電柱に電線を張る「電線工事」だけではありません。

電柱を地面に建て込む「建柱工事」や柱上変圧器を取付ける「変圧器工事」、家庭や事業所へ電線を引き込む「引込線工事」など、新設工事だけでもさまざまな工事があります。

さらに電柱の支障移転、電線の張替えや変圧器の取替えなどの改修・補修工事など「しごと」は広範囲です。



最新技術の採用で、安全・効率的な作業環境を整えています。



配電線工事は高所作業や活線作業（通電中の電線を扱う）を伴うため、万全な安全対策が必要です。トーエネック配電協力会では、最新の機械設備、安全工具を採用することで作業者の安全を第一に考えています。またトーエネックと共に「間接活線工法」「仮送電工法」などの施工技術を開発、実用化しながら安全かつ効率的な作業を追求しています。

また、配電線工事の分野で70年以上の歴史を誇るトーエネック。社会の発展、技術の進化とともに現場作業の労働環境の改善にも努めてきました。例えば「高所作業車」「建柱車」「電線巻取車」などの特殊車両をいち早く導入。「油圧式工具」「充電式工具」「冷房服」なども積極的に採用し作業者の負担軽減を行ってきました。これからも働きやすい環境づくりについては怠りません。



台風や落雷、雪害などによる自然災害発生時にも迅速な復旧対応ができるように、日々、万全な準備体制を整えています。

電気は生活に欠かすことのできないもの。そして時として人の命を守るもの。だから配電エンジニアの仕事は、地域社会にとって欠かすことのできない存在であり、とてもやりがいを感じられる「しごと」です。



社員紹介

自分の仕事が
人や地域社会に
役立っている
と思うとうれしい。



名古屋支店 配電協力会 会員企業社員／入社歴6年【2009年度特別研修生】

高校2年の時、担任の先生から配電線工事の仕事について教えてもらい、興味を持ったのが入社のきっかけ。目立たないけれど、なくてはならない重要な仕事だということに惹かれました。

工事に行く前には必ず作業内容を予習しますが、建物の状況が図面と違っていたり、電柱の傍らに鳥の巣などの障害物があったりと、現場で戸惑うケースも少なくありませ

ん。こうした不測の事態にどう対処するかは、私たちの腕の見せ所。同じ班のメンバーで力を合わせ、無事に工事を終えられた時にやりがいを実感します。

配電線工事の仕事は、いわば電気の道づくり。今、作業をしている電線の先に、たくさんの人の暮らしがある…。そのことを常に心に留め、今後も日々の仕事に邁進していきたいと思っています。



カレーが大好物。ナンカレーを食べて仕事への英気を養っています。



ひとつとして
同じ現場は
ないから、
毎日が挑戦の連続。

岡崎支店 配電協力会 会員企業社員／入社歴4年【2011年度特別研修生】

入社後の新入社員教育で初めて地上14mの電柱に昇った時、緊張で足が震えました。そんな私も今では軽々と電柱に昇れるようになり、主に配電線の張替えやメーターの取付けといった外線工事業務に日々励んでいます。

外線工事の難しいところは、一つひとつの現場によって条件がまったく異なるところ。工事時間帯や周辺の建物状況、樹木の有無

など、あらゆる条件を考慮しながら作業を進めていかなければなりません。まだまだ分からないことが多く、先輩に頼ってばかりですが、毎回新たな挑戦があり、それをやり遂げるたびに大きな達成感を味わえます。今後の目標は、早く先輩方に追いつき後輩から頼りにされる存在になること。そのためにもっと経験を積んで知識と技術を向上させ、どんな現場でもこなせるようになりたいです。



社員旅行で沖縄に行き、パラセーリングを楽しみました。

野球で培ったものが、
日々の仕事に
生かされている
ことを実感。



会社の仲間や先輩と一緒に野球クラブで楽しんでいます。

静岡支店 配電協力会 会員企業社員／入社歴6年【2009年度特別研修生】

高校時代は甲子園をめざして野球に熱中していました。当時の経験が、配電マンとしての社会人生活に大きく役立っています。というのも、命綱を付けて電柱に昇り、6,000ボルト以上の高圧線を扱う工事現場は非常に厳しい環境。体力や精神力、責任感の強さが求められます。さらに多くの人が協力し合って作業にあたるため、チームワークも欠かせません。地域の方々との関係づくりにお

いても同じ。笑顔で元気に挨拶するなど、小さなコミュニケーションの積み重ねが信頼関係を築くことを、仕事を通してたびたび実感してきました。そんな私がいつも心がけているのは、仕事を進める上での「潤滑油」になること。工事現場の内と外、どちらにも自ら積極的に働きかけ、良いつながりを生み出せるよう、これからも努力していきたいと思います。



「電気の守り人」
として、
しっかり汗を
かいていきたい。

三重支店 配電協力会 会員企業社員／入社歴3年【2012年度特別研修生】

工業高校で学んだ電気知識を生かしたいと考え、配電線工事の道に進みました。入社したての頃は、電柱上で作業姿勢を維持することさえも一苦労。そんな私とは対照的に、テキパキと任務をこなし、お客さまと笑顔で対話する先輩方の姿に憧れを抱き、同時にライフラインを支えるこの仕事の意義と誇りを改めて胸に刻んだものです。

配電線工事の現場はいわば一期一会。

マニュアル頼みではなく、状況に合わせて柔軟に対応しなければなりません。その力を身に付ける方法はただひとつ、「地道に経験を積み、目と勘を養っていくこと」。新人時代にそう教えてくれた先輩から最近、「配電マンらしくなってきたな」と褒めてもらえたことが大きな励みになっています。私たちは「電気の守り人」。これからも初心を忘れず、日々現場で汗をかいていきたいです。



マンガが好きで、よく友人とマンガ喫茶や喫茶店でマンガを読みます。この休日も、友人と昼食に出かけ喫茶店で好きなマンガを楽しみました。

社員紹介

お客さまから
いただく
「ありがとう」の
言葉が活力源。

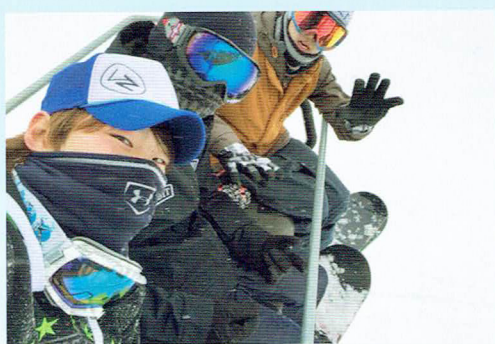


岐阜支店 配電協力会 会員企業社員／入社歴4年【2011年度特別研修生】

配電線工事の仕事の魅力は、地域社会に貢献しているという実感をダイレクトに味わえること。たとえば自然災害や事故などで停電が発生した時、いち早く現場に駆けつけ、不良箇所の改修にあたるのも私たちの役目です。特に対応人数が限られる夜間の作業は困難を極めますが、早期復旧することができ、暗くなっていた視界に次々と照明が灯る瞬間は何とも言えません。そして、お客さまから

「ありがとう」と声をかけていただけると、充実感とともに誇らしげな気持ちが湧いてきます。

安全・確実かつ、できるだけ迅速に配電線工事を行うことは電気の安定供給のために必要不可欠ですが、私の技術力はまだまだ半人前。これからも日々、先輩方に学びながら、貪欲に腕を磨きたいです。「この仕事をずっと続けていこう!」と決めていますから。



仲間たちとスノーボードに行った時の写真です。

■ 安全・快適な作業のために配電エンジニアをアシストする最新工法&最新工具

工法

柱間切分工法

トーエネックでは電気の流れを止めずに配電線工事を行う仮送電工法を採用していますが、配電線の切断・接続による停電範囲をさらに縮小できる柱間切分工法も新たに採り入れ、安全かつ効率的な配電線工事を行っています。



工具

充電式マルチ工具

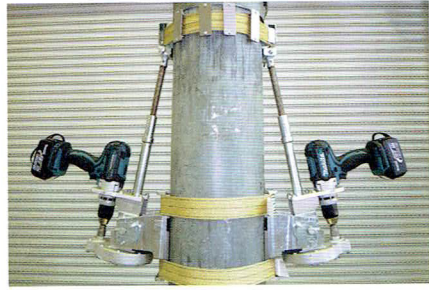
先端工具と充電式回転工具を組み合わせ、各種の電線工事に対応する工具です。この工具を使用する事で、作業負担の軽減と安全・品質工事が向上し、効率よく作業を行う事ができます。



工具

パンザーマスト 柱上組立・解体工具

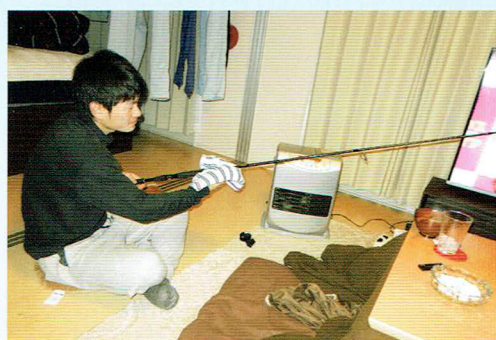
高張力鋼板でできた管を継ぎ合わせて1本の柱にする鋼板組立柱(パンザーマスト)を安全で容易に組立、解体する工具です。また、パンザー解体工具は、充電ドリルドライバーの動力を使用し、作業負担が少なく安全にパンザーマストの解体ができます。



ライフラインを
支える
使命感が
モチベーションに。



長野支店 配電協力会 会員企業社員／入社歴5年【2010年度特別研修生】



釣りが趣味。仕事の後、休日に向けて釣竿の手入れをしています。

高校生の時、職場見学を通して配電線工事がライフラインを支える社会的意義の大きい仕事だということを知り、「ここで働いてみたい!」と直感。電気の知識はありませんでしたが、社内のアットホームな雰囲気から、先輩方がしっかり導いてくれる安心感を抱いたことも後押しになりました。

現在は電柱の建替えから配電線の張替え、変圧器の揚替えまで、外線工事全般に従

事。日々の業務に加え、災害や事故による突発的な停電の復旧作業で、深夜や休日に出動することも少なくありません。夏の暑さや冬の寒さとの闘いも必須です。でも、工事を終え、近隣住民の方々から感謝と労いの言葉をかけていただけた時のうれしさは格別。地域に貢献できる仕事への誇りを感じ、さらにモチベーションが上がってきます。

東日本大震災における東北電力(株)への復旧応援

東日本大震災の時は、全国の電工会社が東北地方に集まりました。トーエネックや配電協力会からも述べ966人が復旧に携わっています。

ライフラインである電気を一刻も早く復旧させるということは、一人でも多くの人命を救うことと同じです。

そのため、現地に向かった作業員全員が自分たちの家族を守るのとおなじ気持ちで作業にあたりました。

復旧作業の際にお客さまから感謝の言葉をいただいた時は、日頃磨いてきた技術が世の中の役に立ったことを実感できたと聞いています。

後日、お客さまからの感謝の手紙や子供からの「ありがとう」の絵が届いたことは、作業員たちの誇りとして、今でも大切にされています。



前進基地での朝礼風景



前進基地での待機風景



震災により傾いた電柱の復旧作業



後日、現地の子供から頂いたお礼のスケッチ

研修施設紹介



充実した学習環境と
教育プログラムで、
配電エンジニアとしての
スタートをバックアップします。



協力会社に入社する皆さんも特別研修生として、トーエネックの新入社員と同じように配電に関する知識および技術を学びます。

4月から9月まで仲間たちと共に寮生活を送りながら、現場の実情に対応した実践的な学科教育や基本的な動作、標準作業を習得します。教育センターで基礎的な知識や技術を習得したのち、10月から翌年3月までは現地教育で

実践的な技術を磨きます。また、配電線工事に必要な高所作業車の技能講習などをはじめ、第2種電気工事士の国家資格についても支援講座を開催し資格取得をバックアップします。

教育センターでは配電に関する知識だけではなく、一人前の社会人・組織人として行動できるような人材教育も大切にしています。

教育センターの年間スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
主な行事	入社式・配電開校式		工場見学	安全祈願・現場見学 事業場内訓練生体育大会	交通講話	技術披露会・現地配属式				技能照査		修了式
	教育センター内での教育 (学科・実技教育)					現地教育 (現地での実践的な技術習得)						

教育センター

教育・研究棟

教育用電柱が並ぶ屋外実習場をはじめ、基礎教育から実践的な技術訓練を学べる各種教育設備が整っています。

配電実技教室



配電に関する基礎教育を座学で学ぶ教室です。

屋内実習場



雨天でも低所で配電線工事を学ぶことができる実習施設です。

屋外実習場



90本もの電柱が立ち並び、高所での実践的な作業技術を習得することができます。

クリエイイトホール

宿泊施設や厚生施設など、研修生の生活の場となるクリエイイトホール。宿泊施設は全室シングルでプライバシーを守りながら過ごすことができます。

宿泊施設



全室シングル部屋でセキュリティもプライバシーも万全です。

厚生施設



ゆっくりくつろげるラウンジをはじめ、ダイニングルーム、トレーニングルームや読書室も完備しています。

教育センター Snapshot



研修生によるクラブ活動も活発です。

団体行動での規律を行進訓練で学びます。



授業の中で普段見ることのできない電柱工場の見学もします。

技術披露会で習得した技術を恩師の方々に見ていただきます。

